

第 1 号 報 告

事 業 報 告 書

— 平成 25 年度 —

(第 5 期)

自:平成 25 年 4 月 1 日

至:平成 26 年 3 月 31 日

1 当学会の現況

会員数の推移

会員種別	平成 25 年 3 月 31 日現在	入会者	退会者	平成 26 年 3 月 31 日現在
正会員	115	34	7	142
学生会員	15	10	5	20
賛助会員	6	3	0	9
公益会員	1	0	0	1
名誉会員	0	0	0	0
総会員数	137	47	12	172

役員に関する事項

現在の役員は以下の通りである。

代表理事 柴田 良一 会長

理事 石津 陽平

理事 今野 雅

理事 大島 聡史

理事 大淵 真志

理事 芝 世式

理事 高木 洋平

理事 中川 慎二

理事 新倉 寿夫

理事 西 剛伺

理事 野村 悦治

監事 大嶋 拓也

監事 吉田 正典

主たる事務所の住所

東京都千代田区外神田 6 丁目 15 番 4 号

事務局の住所等

東京都千代田区外神田 6 丁目 15 番 4 号 (株式会社 爆発研究所 内)

TEL: 03-6803-2263 FAX: 03-6803-2264

2 総括

当学会第 5 期の平成 25 年度は、総会員数が平成 24 年度末時点よりおよそ 27% 増加し、平成 25 年度末の時点で正会員 142 名を含む総会員数 172 となった。継続的に増加傾向を維持している。この会員増は、理事をはじめとする会員諸氏の努力の賜物であると同時に、オープン CAE ソフトウェアが従来にもまして重要となってきたことの現れとも考えるべきであり、当学会の役割と責任も大きくなってきているように思われる。

例えば注目されているオープン CAE ソフトウェアの状況としては、流体解析システムの OpenFOAM の開発元の OpenCFD 社は平成 24 年度に ESI のグループとなりビジネスでの活用がさらに展開している。その間、OpenFOAM のバージョンアップは活発に行われ、ソフトウェアの進化が継続している。一方構造解析システムの Salome-Meca も毎年2回のバージョンアップを計画的に展開し、地道ながら様々な場面での活用が展開している。我が国におけるこれらをはじめとするオープンソースに関する活動は、ビジネスであるとないとにかかわらず、非常に盛んになってきている。

当学会としては、このような状況を背景に、正会員・学会会員諸氏や賛助会員・公益会員各社団体に、どのようなサービスを提供するか議論しつつ歩んできているが、今後とも、OpenCAE を取り巻く状況の進展を見ながら、計算科学分野におけるオープンソース、フリーソフトウェアを主とする技術の発展、普及を図り、もって文化の向上に貢献していく所存である。

3 事業活動報告

平成 25 年度の事業計画に沿って活動の概況を報告する。

3.1 社員総会

3.1.1 定時社員総会

開催日時

平成 25 年 6 月 21 日(金曜日) 9:30～10:30

開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター

正会員現在数及び定足数

正会員現在数:129 名 定足数:65 名

出席正会員数

83 名

(内訳)

出席者数:18 名

電磁的方法による委任:65 名

うち議長を代理人にする者:65 名, 出席する他の正会員を代理人にする者:0 名

議事

報告事項	第 1 号報告	『平成 24 年度事業報告』
	第 2 号報告	『オープン CAE 学会特別功労賞授与』
決議事項	第 1 号議案	『平成 24 年度決算報告』 可決
	第 2 号議案	『平成 25 年度事業計画』 可決
	第 3 号議案	『平成 25 年度収支予算』 可決
	第 4 号議案	『理事及び監事の改選』 可決
	第 5 号議案	『平成 26 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』 可決

3.1.2 臨時社員総会

開催日時

平成 25 年 12 月 6 日(金曜日) 12:50～13:00

開催場所

大阪産業創造館 イベントホール

正会員現在数及び定足数

正会員現在数:144 名 定足数:73 名

出席正会員数

85 名

(内訳)

出席者数:29 名

電磁的方法による議決権行使者数:30 名

電磁的方法による委任:26 名

うち議長を代理人にする者:26 名, 出席する他の正会員を代理人にする者:0 名

議事

決議事項 第 1 号議案 『定款における所在地変更の件』 可決

第 2 号議案 『定款における監事の任期変更の件』 可決

3.2 公益目的事業

3.2.1 オープン CAE ワークショップ 2013

開催日

2012 年 6 月 20 日, 21 日

開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター

概要

定時社員総会, 講演会, 講習会, 懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講演会:82 名, 講習会:67 名, 懇親会:49 名

3.2.2 オープン CAE シンポジウム 2013

開催日

2012 年 12 月 5 日, 6 日

開催場所

大阪産業創造館 (大阪府大阪市)

概要

講演会, 講習会, 懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講演会:70 名, 講習会:58 名, 懇親会:48 名

3.2.3 講習会

一般向けの講習会として、ワークショップ 2013, シンポジウム 2013, に併設する形式において、SALOME-Meca 講習会, OpenFOAM 講習会を施した。多数の参加を受け好評であった。

学生などの若手向け講習会として、OpenFOAM を対象としたサマースクール 2013 を開催し、多数の参加を受け好評であった。これを補足する形で一般向けの OpenFOAM 講習会も実施した。

3.2.4 ホームページの拡充

1. 各担当理事による情報発信を積極的に進めることとし、学会活動の基盤としての活用方法を検討した。
2. ウェブ上で会員情報を自ら確認修正することを目指して、機能追加の方針を確定し、具体的な準備を進めて、次年度の試験運用へ向けて準備を進めた。
3. 学会 WEB に会員用サービスの WEB ページを設けて、2013 年 5 月 21 日に学会 WEB に全会員のアカウントを作成、全会員が会員用サービスの WEB ページを閲覧できるようにした。またウェブ上には、各地のオープン CAE 勉強会の開催連絡なども集約され、利便性を向上させた。

3.2.5 会員サポート

当学会公認の勉強会（オープン CAE 勉強会および OpenFOAM 勉強会 for beginner の勉強会）での発表の Ustream 録画もしくは PC で録画したコンテンツを発表毎に編集し、約 100 以上の発表動画を動画共有サイトにアップロードした。これに関しては、チップによる寄付を受けることが出来るようになった。

また、会員サービスの一つとして 2013 年 5 月 21 日に勉強会動画閲覧サービスを開始した。

2014 年 5 月に、会員向けのニュースレター 2014 年第 01 号, 第 02 号が配信された。

3.2.6 他学会との交流

2013 年 12 月 5 日～6 日に大阪で行なわれたオープン CAE シンポジウム 2013 において、関西 CAE 懇話会との協賛として運営支援スタッフに参加頂いた。また、関西 CAE 懇話会とは、今後も各種活動を連携すること確認した。また、CAE 懇話会とは相互に会員資格を持つことで、行事告知において連携を進めることを確認し、具体的な手続きの検討を進めている。

3.2.7 解説書作成

オープン CAE の有効活用のために、現在、オープン CAE 学会のチームによって、OpenFOAM の解説書を準備している。昨年度は、原稿案をサマースクールで活用するなどして、利用者の声を反映した有益な資料とすべく努力を続けている。

3.3 収益事業

3.3.1 出版事業

OpenFOAM (R) ユーザガイド Version 2.2.0, プログラムズガイド和訳 Version 2.1.0 を製本、販売した。

3.3.2 DVD 事業

DEXCS2013 for OpenFOAM(R) 特別版の DVD を販売した。

3.3.3 講師派遣事業

Web サイト内に講師派遣事業に関する専用ページを作成する計画であったが実現には至っていない。また平成 25 年度には、講師派遣の依頼はなかった。

3.4 理事会

3.4.1 第1回理事会

開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階 小研修室4A

開催日時 平成25年4月16日 15時00分～17時00分

議事 決議事項 第1号議案 『オープンCAEワークショップ2013の開催要領』

第2号議案 『決算申告業務の外部委託について』

第3号議案 『WEBサーバアカウント作成の委託について』

第4号議案 『V&V整備委員会の設置について』

第5号議案 『平成25年度及び26年度の理事について』

報告事項 ① OpenFOAM 書籍出版の進捗状況について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『オープンCAEワークショップ2013の開催要領』

協議の結果、以下の事項を決定した。

- 6月20日に講習会、6月21日に講演会と社員総会、懇親会を開催する。
- 参加費はワークショップ2012と同様とする。
- 理事の役割分担について、大会実行委員長：中川理事、基調講演幹事：新倉氏(事務局)、GUIセッション幹事：今野理事、講習会幹事：野村理事、受付及び総務幹事：新倉氏、田辺氏(事務局)、懇親会幹事：吉田理事とする。一般講演及びライトニングトーク幹事は、セッション内容に応じて追って決定する。
- 講演会及び講習会のプログラム構成。
- OpenFOAM (R) ユーザガイド Version 2.2.0 を70部、DEXCS2013 for OpenFOAM(R) DVD を100枚製作し、当日会場にて販売する。

第2号議案 『決算申告業務の外部委託について』

平成24年度以降の決算申告業務を、下記の要領で人見貴行税理士事務所(東京都文京区湯島2-31-24)へ委託することについて、出席理事全員一致で可決した。

- 平成24年決算申告業務：15万円(税抜)
- 平成25年度以降 決算申告業務および税務サポート：17万2千円(税抜)/年

人見貴行税理士事務所と正式な委託契約を結ぶとともに、平成25年度以降の収支予算へ委託費を計上することとした。

第3号議案 『WEBサーバアカウント作成の委託について』

当学会WEBサーバへの会員アカウント作成業務について、料金5万円でAOCプランニングへ委託することを、出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 『V&V整備委員会の設置について』

今野理事より議案についての説明がなされた。説明によると、シンポジウム2012パネルディスカッションにおいて、当学会でのV&V整備の要望があったことから、その際のパネリストや賛助会員の方々をメンバーとし、V&V整備委員会を立ちあげてはいかがかとのことであった。審議の結果、V&V整備委員会の立ち上げを出席理事全員一致で可決した。

また委員会の運営方針として、委員長の選任方針や賛助会員の積極的な勧誘が検討された他、将来的な会費徴収案などについて意見が出された。

第5号議案 『平成25年度及び26年度の理事及び監事について』

理事候補者を以下の通り、出席理事全員一致で可決した。

- 重任：吉田正典 今野雅 大嶋拓也 野村悦治 芝世武 柴田良一 中川慎二 大島聡史 西剛伺 石津陽平
- 新任：高木洋平 新倉寿夫 大淵真志
- 退任：森野慎也

新会長は理事による推薦と投票によって選任することとした。また新監事については、引き続き内外で適任者を選定することとした。

(報告事項)

① OpenFOAM 書籍出版の進捗状況について

今野理事より、書籍原稿の原案執筆者との交渉を引き続き進める旨の報告がなされた。

3.4.2 第2回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成25年6月4日～6日

議事 決議事項 第1号議案『第4回定時社員総会の招集』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『第4回定時社員総会の招集』

本議案は、第4回定時社員総会の概要及び招集について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 開催日時：平成25年6月21日 9:30～10:30
- 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 501号室
- 議案：

(報告事項)

- 平成24年度事業報告

(決議事項)

- 平成24年度決算報告
- 平成25年度事業計画
- 平成25年度収支予算
- 理事及び監事の改選
- 平成26年度事業計画及び収支予算についての暫定処置
- 欠席社員の議決権行使：電磁的方法により委任状を提出することができる。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

3.4.3 第3回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成25年6月14日～17日

議事 決議事項 第1号議案『平成24年度事業報告書』

第2号議案『オープンCAE学会特別功労賞授与』

第3号議案『平成24年度決算報告書』

第4号議案『平成25年度事業計画書』

第5号議案『平成25年度収支予算書』

第6号議案『理事及び監事の改選』

第7号議案『平成26年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『平成24年度事業報告書』

本議案は、第4回定時社員総会で報告する第1号報告『平成24年度事業報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第4回定時社員総会議案書の第1号報告『平成24年度事業報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第2号議案『オープンCAE学会特別功労賞授与』

本議案は、第4回定時社員総会に提案する第2号報告『オープンCAE学会特別功労賞授与』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第4回定時社員総会議案書の第1号議案『オープンCAE学会特別功労賞授与』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第26条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第3号議案『平成24年度決算報告書』

本議案は、第4回定時社員総会に提案する第1号議案『平成24年度決算報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第4回定時社員総会議案書の第1号議案『平成24年度決算報告書』に記載されている。本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第4号議案『平成25年度事業計画書』

本議案は、第4回定時社員総会に提案する第2号議案『平成25年度事業計画書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第4回定時社員総会議案書の第2号議案『平成25年度事業計画書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第5号議案『平成25年度収支予算書』

本議案は、第4回定時社員総会に提案する第3号議案『平成25年度収支予算書』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第4回定時社員総会議案書の第3号議案『平成25年度収支予算書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第6号議案『理事及び監事の改選』

本議案は、第4回定時社員総会に提案する第4号議案『理事及び監事の改選』について理事会の承認を求めるものであり、原案である平成25年、26年度の理事及び平成25～28年度の監事の選任については、事前の協議に基づき第4回定時社員総会議案書の38～39ページに記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 7 号議案 『平成 26 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

本議案は、第 4 回定時社員総会に提案する第 5 号議案『平成 26 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 4 回定時社員総会議案書の第 5 号議案『平成 26 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

3.4.4 第 4 回理事会

開催場所	国立オリンピック記念青少年総合センター カフェフレンズ
開催日時	平成 25 年 6 月 21 日 12 時 00 分～12 時 50 分
議事 決議事項	第 1 号議案『代表理事の選任について』 第 2 号議案『動画コンテンツのインターネット販売について』
協議事項	① オープン CAE シンポジウム 2013 の開催について ② 田辺賞選定方法の再考について ③ サマースクールの開催について ④ V&V 整備委員会の立ち上げについて ⑤ 事務局運営体制の見直しについて

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『代表理事の選任について』

吉田監事(前会長)が議長となり、出席理事による平成 25、26 年度の代表理事選任投票がなされた。開票の結果、柴田良一理事が選任され、満場異議なく承認された。欠席である柴田良一理事の同意は、就任承諾書を以って得ることとした。

第 2 号議案 『動画コンテンツのインターネット販売について』

今野理事より議案説明があった。説明によると、これまで開催された講習会、講演会等の動画コンテンツをインターネット上で販売してはいかがかとのことであった。

審議の結果、動画コンテンツのインターネット販売を出席理事全員一致で可決した。具体的な販売手法については今野理事に一任することとした。

(協議事項)

① オープン CAE シンポジウム 2013 の開催について

協議の結果、以下の事項を決定した。

- ・ 開催時期を平成 25 年 11 月～12 月とする。
- ・ 高木理事を大会実行委員長とする。
- ・ 開催地は大阪府とし、会場の選定は高木理事が行う。

② 田辺賞選定方法の再考について

中川理事より、田辺賞の選定についてはワークショップ、シンポジウム終了後に理事によるメール投票を行ってはいかがかとの提案がなされた。それに対し、田辺賞は通年で選定するため開催規模によって一票の比重が異なるとの指摘がなされ、採点による選定が提案された。本理事会の場では結論に至らず、新代表理事及び次回シンポジウム実行委員長のもと、選定方法を再検討することとした。

③ サマースクールの開催について

今夏の開催を目指し、新代表理事のもと具体的な内容を検討することとした。

④ V&V 整備委員会の立ち上げについて

現在学会内外から参加者を募っており、新代表理事のもと正式に委員会を組織することとした。

⑤ 事務局運営体制の見直しについて

新倉理事より協議の提案がなされた。事務局運営について、現在の体制に移行してから一定の期間を経たため、事務委託契約内容や事務局内での分業を活動実体に合わせて見直しはいかかとの提案に対し、新代表理事のもとで具体的な検討を行い、適宜内容を見直すこととした。

3.4.5 第5回理事会

開催場所 大阪大学中之島センター 608 室

開催日時 平成 25 年 7 月 6 日 10 時 30 分～12 時 30 分

議事 決議事項 第 1 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2013 の開催要領 』
第 2 号議案 『 オープン CAE サマースクール 2013 の開催要領 』
第 3 号議案 『 旅費規程の一部改訂 』
第 4 号議案 『 事務局運営業務の委託内容について 』
第 5 号議案 『 オープン CAE ワークショップ 2013 の動画販売について 』
第 6 号議案 『 会員情報管理プラグインの外注について 』
第 7 号議案 『 V&V 委員会への旅費予算の割り当てについて 』

協議事項 ① 理事会の定期開催について
② OpenFOAM Google グループのガイドライン整備について
③ イベント発表資料の公開について
④ 講習会の開催方針について

報告事項 ① OpenFOAM ソースもしくは C++ Documentation (Doxygen) の和訳について
② OpenFOAM 入門書籍出版の進捗について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2013 の開催要領 』

審議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 開催日を平成 25 年 12 月 5 日、6 日とする。
- 12 月 5 日に講習会及び講演会、6 日に講演会及び懇親会を行うこととする。
- 開催場所を、大阪産業創造館 研修室及びイベントホール とする。
- 大会実行委員について、大会実行委員長:高木理事、基調講演幹事:大淵理事、一般講演幹事:西理事、録画幹事:今野理事、講習会幹事:中川理事、懇親会幹事:高木理事 とする。その他、開催地での機動性を重視し、学会内外から現地スタッフを選出することとする。

基調講演及びセッションの詳細については、担当幹事及び実行委員会内で引き続き検討を行う。

第 2 号議案 『 オープン CAE サマースクール 2013 の開催要領 』

審議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 開催日を平成 25 年 9 月 6 日～8 日とする。
- 開催場所を、熱海 芳泉閣 とする。
- 参加費については、学生会員:20,000 円、社会人会員:30,000 円 とする。
- 実行委員は野村理事、今野理事、石津理事、高木理事が務める。

- ・ 講師は野村理事, 今野理事, 石津理事が務める。
など。

第3号議案『旅費規程の一部改訂』

旅費規程の適用範囲に監事を含めることを, 出席理事全員一致で可決した。本議決に伴い旅費規程を改訂し(P.21 参考資料を参照のこと), 平成25年7月6日より施行することとした。

また運用方法について, 学会職務に関する交通費は金額の多寡を問わず申請を行い, 会長の承認を経て支給すること, イベントに係る旅費は実行委員長長の判断のもと会長の承認を経て支給することが確認された。

第4号議案『事務局運營業務の委託内容について』

事務局より議案の説明がなされた。AOCプランニングへ委託している事務局業務について, 体制変更によりAOCプランニングと株式会社爆発研究所での分業が進んでいることから, 爆発研究所と新たに業務委託契約を結んではいかかとのことであった。審議の結果, 平成25年7月分よりAOCプランニング及び爆発研究所双方へ事務局業務を委託することとし, 委託料は現行の予算範囲内(10万円/月)で業務分担に応じて2社で分配することを, 出席理事全員一致で可決した。

委託料の分配比率については, 業務分担を明確化した上で事務局及び会長が検討を行い, その結果を次回理事会へ諮ることとした。

第5号議案『オープンCAEワークショップ2013の動画販売について』

審議の結果, 以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- ・ 動画編集作業を4万5千円で外部委託する。
- ・ 動画販売にはWebサービスVimeoのProアカウント(199\$/年)を利用し, 費用対効果を随時検証する。
- ・ 販売価格は会員, 非会員で一律とする。

これまで販売している動画コンテンツについても, 販売体制の見直しを検討することが提案された。

第6号議案『会員情報管理プラグインの外注について』

今野理事より議案の説明がなされた。24年度の理事会から協議されている会員情報管理プラグイン開発の外部委託について, 当初の委託候補先であったAOCプランニングが業務の都合上受託が難しいため, 別の委託先を検討したいとのことであった。審議の結果, 業務管理の観点から, 当学会からは予定通りAOCプランニングへ委託することとし, 必要に応じてAOCプランニングから別業者への外注を検討してもらうことを, 出席理事全員一致で可決した。

第7号議案『V&V委員会への旅費予算の割り当てについて』

今野理事より, 議案の説明がなされた。V&V委員会の活動費として旅費10万円の予算承認を求めるもので, 審議の結果, 委員会における成果は学会および学会員の発展に役立てることを前提とした上で, 25年度より年間10万円の旅費を承認することを出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

① 理事会の定期開催について

不定期で開催されている理事会について, 隔月で定期開催とすることが提案された。円滑な業務遂行を図るべく, 理事が多く参加するオープンCAE勉強会等に合わせて理事会開催頻度を高めることとした。

② OpenFOAM Google グループのガイドライン整備について

OpenFOAM Google グループの運用について, 参加者増加に伴い質問の仕方等を記載したガイドラインの必要性が協議され, 学会としてガイドラインの整備を進めることとした。

③ イベント発表資料の公開について

ワークショップ、シンポジウム等のイベントでの発表資料について、現在はイベント毎の Web ページへ個別に掲載されている。ファイル添付の容量制限や利便性を考慮すると、レポジトリでの一括管理への移行が望ましく、それに伴い資料のダウンロードを会員限定サービスとすることで、会員特典を拡充してはいかかとの提案がなされた。協議を進めたが本理事会で結論には至らず、資料の公開範囲及び会員特典の拡充については引き続き検討を進めることとした。

④ 講習会の開催方針について

学会サービスの拡充及び規模拡大に伴い増加する運営費の確保を目的とし、講習会の開催内容の見直しについて議論がなされた。

- 需要の高い分野に関する講習会を積極的に企画し、開催頻度を高める。
- 他学会等を参考とし、講習会参加料金を適切な水準へ見直す。
- これまで一律としていた講師謝礼について、収入(参加者数)に応じた謝礼とする。

等の提案がなされ、具体的な運用について引き続き検討を進めることとした。

(報告事項)

① OpenFOAM ソースもしくは C++ Documentation (Doxygen) の和訳について

今野理事より、具体的な和訳作業の方法について報告がなされた。

② OpenFOAM 入門書籍出版の進捗について

今野理事より、書籍内容及び作業の進捗、分担について報告がなされた。

3.4.6 第6回理事会

開催場所 芳泉閣 会議室

開催日時 平成25年9月8日 12時45分～15時00分

議事 決議事項 第1号議案『事務局業務の委託契約について』
第2号議案『講習会参加料金及び講師謝礼の見直しについて』
第3号議案『オープン CAE 勉強会動画の閲覧制限の廃止について』

協議事項 ① 事務局運営の円滑化に関する検討
② 本店所在地の移転について
③ 監事の任期の見直しについて
④ 年次イベントの運営方針

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『事務局業務の委託契約について』

検討を進めてきた事務局業務委託内容の見直しについて、先立って行われた事務局内での協議結果に関する報告がなされた。それを踏まえ、以下の事項について出席理事全員一致で可決した。

- 爆発研究所、AOC プランニングそれぞれと下記の内容の業務委託契約を締結する。

契約期間：平成25年8月1日～平成26年6月30日

委託料：爆発研究所 60,000 円/月 AOC プランニング 40,000 円/月

業務内容の分担については、両委託先の合意内容に基づく。

等

第2号議案『講習会参加料金及び講師謝礼の見直しについて』

前回理事会より見直しを検討している講習会の運営について、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 開催概要：定時開催＋時事テーマを扱うコースの2本立てとする。

- ・ 講師謝礼：原則として、参加費の半額を謝金とし、旅費は別途支給することとする。
- ・ 最少催行人数：会場費、旅費を考慮のうえ若干でも利益を確保できる人数を定める。
- ・ 参加料金：参加コースに関わらず、1コマ当たり下記一律の料金設定とする。

社会人会員：4,000円 学生会員：2,000円

社会人非会員：10,000円 学生非会員：6,000円

以後、上記での運用を基本とし、適宜見直しを図ることとする。

第3号議案『オープンCAE勉強会動画の閲覧制限の廃止について』

今野理事より議案について説明がなされた。それによると、オープンCAE勉強会の動画を当学会ホームページ上で会員限定サービスとして公開することについて、手間と効果の両面を考慮すると実施するメリットが少ない。そこで、閲覧制限を廃止し動画配信サービスVimeo上で公開し、非会員の閲覧者からはチップ(手数料)を募ることにしてはいかがかとのことであった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

① 事務局運営の円滑化に関する検討

以下の事項が提案された。

- ・ 会員へのメール配信について、依頼受付用の窓口となるメールアドレスを設け、そこへポストされた依頼のみを配信することで、配信漏れの低減や賛助会員のメール配信利用促進を図る。
- ・ ホームページの整備と情報発信の充実を図ることで会員の利便性を向上させ、問合せの低減を図る。
- ・ 書籍、DVDの頒布希望が増加していることから、ホームページ上の物販案内システムの充実やPayPal等の決済サービスの導入について検討を進める。
- ・ 現状では事務局の業務量と委託料のバランスが取れておらず、今後改善を図る必要がある。業務の効率化や収益増による運営予算確保、またボランティアスタッフとの協力等を推進する。

実際の運用については今後関係者が具体的な検討を進めることとした。

② 本店所在地の移転について

現在の登記上の本店所在地(東京都文京区)には学会としての実体がないため、株式会社爆発研究所の所在地(東京都千代田区)へ本店登記を移転することが提案された。次回の社員総会で議案とすべく、事務局にて準備を進めることとした。

③ 監事の任期の見直しについて

定款で定める監事の任期を、現状の4年から2年へ短縮することが提案された。次回の社員総会で議案とすべく、事務局にて準備を進めることとした。

④ 年次イベントの運営方法について

ワークショップとシンポジウムの年2回のイベント開催は、規模の拡大もあり現状の運営体制からは負担が大きくなりつつある。そのため、既存のシンポジウムを年次大会として拡大し、ワークショップは講習会と社員総会を主として規模の縮小を図ることが提案された。

3.4.7 第7回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成25年11月12日～15日

議事 決議事項 第1号議案『臨時社員総会の招集』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『臨時社員総会の招集』

本議案は、臨時社員総会の概要及び招集について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 開催日時：平成 25 年 12 月 6 日 12:50～13:00
- 開催場所：大阪産業創造館 イベントホール
- 議案：
(決議事項)
 - 定款における所在地変更の件
 - 定款における監事の任期変更の件
- 欠席社員の議決権行使：電磁的方法により委任状を提出、また議決権を行使することができる。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

3.4.8 第 8 回理事会

開催場所 大阪産業創造館 イベントホール控室
開催日時 平成 25 年 12 月 6 日 15 時 10 分～15 時 30 分
議事 決議事項 第 1 号議案『本店登記地の変更について』
第 2 号議案『シンポジウム 2014 の開催について』
協議事項 ① Trac プラグイン開発用リポジトリの設置について
② 平成 26 年 定時社員総会開催概要について
③ 平成 26 年 主要イベントの運営体制について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案『本店登記地の変更について』

第 1 回臨時社員総会での決議を受け、当学会の主たる事務所を平成 25 年 12 月 9 日より下記へ移転することを、出席理事全員一致で可決した。

主たる事務所移転先 東京都千代田区外神田 6 丁目 15 番 4 号

第 2 号議案『シンポジウム 2014 の開催について』

以下のことを決定した。

- 柴田会長を実行委員長とする。実行委員については開催地近郊の理事および協力者を中心に組織する。
- 2014 年 1 月中に、シンポジウム 2013 実行委員会からの引継ぎを行う。
- 開催地は関東とする。
- 開催時期は 2014 年 9 月～12 月とし、他学会のイベントとの日程重複を避けて日時を決定する。

(協議事項)

① Trac プラグイン開発用リポジトリの設置について

石津理事より事前に協議の提案がなされた。当学会サーバ上に専用リポジトリを設置し、担当者にアクセス権を与えることで運用の円滑化を図ってはいかがかとの提案に対し、提案に基づき運用を進めることとした。

② 平成 26 年 定時社員総会開催概要について

日時と場所について、下記の概要で開催することとした。

会場：ルーテル市ヶ谷センター 会議室 1, 2(定員 81 名)

日時：2014 年 6 月 21 日(土) 9 時～21 時の間

なお、会場費用は64,800円(税込)であり、既に支払いは完了している。

③ 平成26年 主要イベントの運営体制について

社員総会、サマースクール、シンポジウムを年間行事とし、年初に各実行委員長を選任するとともに、それぞれ早期に実行委員を組織し、円滑な運営体制作りを進めることとした。

3.4.9 第9回理事会

開催場所	日本 ESI 株式会社
開催日時	平成26年1月18日 10時00分～12時00分
議事 決議事項	第1号議案『平成26年度 行動計画について』 第2号議案『平成26年度 理事の業務分担について』 第3号議案『Asia-Pacific OpenFOAM WorkShop 開催方針について』 第4号議案『オープン CAE 勉強会動画アップロードにかかる謝金支払について』
協議事項	① 会員向けメール配信の定例化について ② 化学工学会との連携継続について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『平成26年度 行動計画について』

26年度の年間行動計画について、下記の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 従来のワークショップは規模を縮小し、26年度は6月に社員総会と講習会を主としたイベントを行う。
- シンポジウム2014を12月(予定)に東京で開催する。
- 年間スケジュールとしては以下のように行う。
 - 6月：社員総会, 講習会(東京)
 - 9月：サマースクール2014(場所未定)
 - 12月：シンポジウム2014(東京)
 - 12月：国際交流
 - 3月：講習会(地方)

なお検討事項として、シンポジウムの開催は隔年で東京と地方を繰り返す等の提案がなされた。

第2号議案『平成26年度 理事の業務分担について』

26年度の各理事の業務分担について、下記のように出席理事全員一致で可決した。

広報:新倉理事, 石津理事 講習会:野村理事 学術:大島理事 出版:大淵理事
社員総会:柴田会長 サマースクール:高木理事 シンポジウム:柴田会長, 西理事
国際交流:今野理事, 中川理事 3月講習会:芝理事

第3号議案『Asia-Pacific OpenFOAM WorkShop 開催方針について』

今野理事より議案の説明がなされた。それによると、8th OpenFOAM WorkShop の Char であった Rhee 先生との相談の結果、Asia-Pacific OpenFOAM WorkShop の初回開催は2014年夏に日本において行うのが適切との方向性が確認された。しかし、準備期間や予算の観点から2014年夏に国際イベントを単独で開催することは難しく、シンポジウム2014と合同で開催してはいかがかとのことであった。

審議の結果、以下の事項について出席理事全員一致で可決した。

- シンポジウム2014に併設して開催する。但し扱いとしては別イベントとし、会計も分ける。
- 当学会の主催で行う。
- 海外から40名集客することを目標とする。

上記の方針に基づき、国際交流担当理事の主導で計画を立案することとした。

第4号議案『オープンCAE勉強会動画アップロードにかかる謝金支払について』

オープンCAE勉強会の動画販売について、関東勉強会の幹事を務める金田氏へ、動画録画及び編集の謝金を支払うことを、出席理事全員一致で可決した。また今後はVimeoへのアップロード作業についても金田氏へ依頼することとした。

(協議事項)

① 会員向けメール配信の定例化について

現在不定期で配信されている会員向けのイベント等告知メールについて、今後はニュースレターとして定期配信を行うことが提案された。協議の結果、イベント告知に限らず会員への情報提供媒体としてニュースレターを配信することが確認され、広報担当理事が配信及び記事編集を主導することとした。

② 化学工学会との連携継続について

高木理事より議案について説明がなされた。それによると、化学工学会関西支部において「化学工学 CFD 研究会」(幹事:大阪大学 岡野教授)が発足し、当学会との連携を継続したい旨の依頼があるとのことであった。協議の結果、イベントでの関連セッションや、講習会への講師派遣等で連携を継続していくことが確認された。また、今後は講師派遣に対する手数料の設定なども検討することとした。

以上